

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
医療専門課程	看護学科	夜・通信	59 単位	10 単位	
	理学療法士学科 2026 年度生	夜・通信	68 単位	10 単位	
	理学療法士学科 2024 年・2025 年度生	夜・通信	51 単位	10 単位	
	臨床工学技士学科	夜・通信	60 単位	10 単位	
	医療総合学科 2026 年度生	夜・通信	23 単位	7 単位	
	医療総合学科 2025 年度生	夜・通信	13 単位	7 単位	
(備考) 理学療法士学科：2026 年度入学生（1 年生）新課程 2025 年度入学生（2 年生）2024 年度入学生（3 年生）旧課程 医療総合学科：2026 年度入学生（1 年生）新課程 2025 年度入学生（2 年生）旧課程					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページにて公開 情報公開→各学科シラバス 看護学科 https://www.icmn.ac.jp/school/info/syllabus-kango/ 理学療法士学 https://www.icmn.ac.jp/school/info/syllabus-rigaku/#syllabus_jitsumu 臨床工学技士学科 https://www.icmn.ac.jp/school/info/syllabus-rinsyo/ 医療総合学科 https://www.icmn.ac.jp/school/info/syllabus-welfare/
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人 大阪滋慶学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人恩賜財団 大阪府済生会富田林医療 福祉センター長 (2025.4.1～)	2020.8.25～ 2029 年度の定時 評議員会の終結 の時まで	業界の情報収集
非常勤	医療法人俊慈会 理事 (2011.4.1～)	2025.5.30～ 2029 年度の定時 評議員会の終結 の時まで	業界の情報収集
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 授業計画書の作成に当たり、科目、単位、講師名、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を記載できるように様式を統一した。授業計画書に関しては、前年の1月～2月にかけて各授業担当者が授業計画を作成し、学科として全体を確認した上で3月には授業計画書を完成させる。完成した授業計画書は年度始めに冊子として学生に配布し、授業計画書を確認し授業に臨むようオリエンテーションしている。また、広く告知できるよう本校ホームページ情報公開の欄に公開している。	
授業計画書の公表方法	ホームページにて公開 情報公開→シラバス https://www.icmn.ac.jp/school/info/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 単位修得の認定は、講義及び実習に必要な時間の出席状況と授業科目の評価により行う。必要な時間の出席については、出席時間が授業時間の3分の2に達しない者は、その科目について評価を受ける資格を失う。授業科目の評価は、学生にあらかじめ示した授業計画書に記載された成績評価の方法、基準のとおりで行い、100点満点で評価をしている。 各授業科目の100点満点の学修成果の評価は、優・良・可・不可(優：80点以上、良：70点から79点、可：60点から69点、不可60点未満)で行っており可以上を合格としている。不合格の場合は、再試験を行い再試験で60点以上を合格としている。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 全履修科目の成績得点を合計し、平均点を算出する。ただし、平均を算出する場合の「入学前単位履修認定科目」は全履修科目から除外する。平均値から学科毎の成績分布を作成する。成績分布は、50点未満と50点以上60点未満、60点以上70点未満、80点以上90点未満、90点以上100点以下の6段階で分ける。下位1/4に該当する人数は、全体を4で除した値で、少数点以下を切り捨てた値とする。また、下位1/4に該当する者の最上位者の点数を指標とする。 客観的な指標の算出方法を本校ホームページ上に公表する。海外への留学時にはGPA表記(5段階表記)に変換し評価できるようにしている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページにて公開 情報公開→学修評価 https://www.icmn.ac.jp/school/info/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本校の理念に基づき、社会のニーズを踏まえた上で学生が身につけるべき能力を有したものに卒業を認定するというディプロマポリシーを定め、公表している。

卒業の認定の方針（ディプロマポリシー）は（１）豊かな人間性と何事にも主体的に取り組むことができる能力を有していること。（２）組織やグループの中でリーダーシップやフォロアーシップを発揮できること。（３）医療のニーズに柔軟に対応でき、社会・地域に貢献できる能力を有していることである。本校の卒業の認定の方針に基づく能力を修得できるようカリキュラムを編成している。

卒業の認定は、学則で定める全ての授業科目の単位修得の認定を受け、出席すべき日数の 2/3 以上の出席がある者を卒業判定会議で学校長が最終判定している。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページで公開 情報公開⇒学修評価
<https://www.icmn.ac.jp/school/info/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	出雲医療看護専門学校
設置者名	学校法人大阪滋慶学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公開 http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公開 http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
財産目録	ホームページにて公開 http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
事業報告書	ホームページにて公開 http://osaka.jikeigroup.net/zaimu
監事による監査報告（書）	ホームページにて公開 http://osaka.jikeigroup.net/zaimu

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	106 単位	83 単位		23 単位		
	夜						
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
240 人		176 人	0 人	11 人	130 人	141 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） すべて必修科目で系列を基礎分野、専門基礎分野、専門分野としている。専門科目に領域を横断した健康段階別看護を設置し、1年次より各基礎科目と関連づけながら看護に必要な基礎的実践能力を学べるようにしている。授業内容、授業回数、授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等の様式を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成している。学生には紙媒体やデータで共有し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は優・良・可・不可で評価する。当該科目試験にて評価し、科目出席時間が授業時間の2/3に達していない場合は評価を受ける資格を失う。

卒業・進級の認定基準
(概要) 〈卒業〉全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの 〈進級〉当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの
学修支援等
(概要) 入学前はプレカレッジを実施し、入学後は、学内の学生サポートセンターと連携し、成績不良者に対し学習サポートで支援している。 入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 ＜本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)＞ 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
58 人 (100%)	2 人 (3.4%)	48 人 (82.8%)	8 人 (13.8%)
(主な就職、業界等) 島根県立中央病院・島根大学医学部附属病院・出雲市立総合医療センター・松江赤十字病院・松江市立病院・松江市立病院・大田市立病院・広島共立病院・イムス東京葛飾総合病院 他			
(就職指導内容) 就職フェアの実施、進路面談、キャリアセンターと共に就職対策（履歴書・模擬面接、小論文指導等）を実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 看護師国家試験受験			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
183 人	7 人	3.8%
(中途退学の主な理由) メンタルヘルス・モチベーションの低下・進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任（複数人）により日常観察を行い、学生一人ひとりの状況変化を即座に察知し、会議等で情報共有を行う。実習指導により担任が学内不在の場合は学年担当教員が情報共有をしながら学生対応・保護者対応に努める。 精神面ではカウンセラーへつなぎ、学力不振など学力面については補講を行う。 適宜、保護者と連携し情報共有・対応の統一化を図る。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法士学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	2026 年度生 115 単位	50.5 単位	38.5 単位	21 単位	単位	単位
		2024・2025 年度生 110 単位	59.5 単位	29.5 単位	20 単位	単位	単位
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		64 人	人	6 人	45 人	51 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） すべて必修科目であり、系列を基礎分野、専門基礎分野、専門分野としている。科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業内容、授業回数、授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を統一し、各授業担当者がシラバスを作成している。学生には紙媒体やデータで共有するとともに、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要） 評価は優・良・可・不可で評価する。当該科目試験等にて評価することとしている。なお、科目出席時間が授業時間の 2/3 に達していない場合は評価を受ける資格を失う。
卒業・進級の認定基準
（概要） 〈卒業〉全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの。 〈進級〉当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの。
学修支援等
（概要） 入学前は、プレカレッジ（入学前教育）の実施により、学校への早期適応を支援している。入学後は、成績や出席状況、人間関係など種々の学校不適応要因のある学生の早期発見に努め、学科教員や保護者と連携した個別支援を行っている。 また、3 つのゼミを展開し、スポーツトレーナーや地域医療等、学生個々の学修ニーズにこたえることができるよう、学びの機会を提供している。総じて、個別最適化した教育の提供を学科の基本方針として学習支援を行っている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他

26 人 (93%)	0 人 (0%)	23 人 (88.5%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容) 1 年早期からキャリア支援を行うことを基本方針としている。進路面談、施設見学の促進、就職対策（履歴書・模擬面接、小論文）など、担任を中心にキャリアセンタースタッフと連携して実施している。また、年 1 回就職フェアを開催している。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 理学療法士国家試験受験資格、福祉住環境コーディネーター、ニュース検定（3 級、準 2 級）、スチューデントトレーナー中級、介護予防トレーナー			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任を中心に定期面談を行い、退学可能性のある学生の早期発見を行っている。退学のリスク要因を分析し、解決策を学科で検討しアプローチしている。事案によっては、保護者への情報共有や協力要請を行うことで、学校と保護者が連携して学生支援を行うことを基本的な方針としている。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
医療		医療専門課程	臨床工学技士学科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3 年	昼	109 単位	64 単位	17 単位	28 単位	単位	
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90 人		50 人	0 人	6 人	50 人	56 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
(概要) 科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を様式の内容を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法

(概要) 評価は優・良・可・不可で評価する。当該科目試験にて評価し、科目出席時間が授業時間の 2/3 に達していない場合は評価を受ける資格を失う。
卒業・進級の認定基準
(概要) 〈卒業〉全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの 〈進級〉当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの
学修支援等
(概要) 入学前はプレカレッジを実施し、入学後は、学内の学生サポートセンターと連携し、成績不良者に対し学習サポートで支援している。 入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 ＜本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)＞ 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	0 人 (0%)	10 人 (0%)	0 人 (0%)
(主な就職、業界等) 島根県立中央病院、浜田医療センター、益田地域医療センター医師会病院、鳥取県立中央病院他			
(就職指導内容) 就職フェアの実施、進路面談、キャリアセンタースタッフと共に就職対策（履歴書・模擬面接、小論文）を実施			
(主な学修成果（資格・検定等）) 第 2 種 ME 技術実力検定試験取得 10 名/10 名中 100% 国家試験取得率 10 名/10 名中 100%			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
54 人	4 人	7.4%
(中途退学の主な理由) メンタル不良による通学登校困難なため		

(中退防止・中退者支援のための取組) 個別面談や保護者面談、クラスメイトから状況確認を行う。
--

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
医療		医療専門課程		医療総合学科		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総単位数		開設している授業の種類					
				講義	演習	実習	実験	実技	
2 年	昼	医療事務・医療情報 専攻 2026 年度生 102 単位		64.5 単位	31.5 単位	6 単位			
		医療事務・医師事務 作業補助者専攻 2026 年度生 101 単位		64.5 単位	31.5 単位	6 単 位			
		医療事務・情報専攻 2025 年度生 92 単位		62 単位	24 単位	4 単 位			
		健康リハビリ専攻 2025 年度生 単位		66 単位	26 単位	4 単 位			
学生総定員 数		学生実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員 数		総教員数	
80 人		17 人	人	1 人		21 人		22 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）科目、単位、講師名をはじめ、授業の方法、授業の内容、授業の回数や授業毎の到達目標、成績評価の方法と基準等を様式の内容を統一し、各授業担当者が授業計画書を作成した。学生には冊子で配布し、本校ホームページ情報公開の欄に公開している。
成績評価の基準・方法
（概要）評価は優・良・可・不可で評価する。当該科目試験等にて評価することとしている。なお、科目出席時間が授業時間の 2/3 に達していない場合は評価を受ける資格を失う。
卒業・進級の認定基準
（概要）〈卒業〉全ての授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、卒業判定会議で認定されたもの。 〈進級〉当該学年の授業科目の単位修得の認定を受け、かつ出席すべき日数の 2/3 以上の出席があり、進級判定会議で認定されたもの。
学修支援等

(概要) 入学前はプレカレッジを実施し、入学後は、学内の学生サポートセンターと連携し、成績不良者に対し学習サポートで支援している。 入学後は、欠席が続く場合や学習成績が振るわない場合、担任が学生や保護者と面談し原因を把握し、学科で共有し適切な対応を行う。 <本校の教育支援システム(職業人教育=職業教育+キャリア教育)> 入学前教育(プレカレッジ)→在学教育(カレッジ)→生涯教育(ポストカレッジ)

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10 人 (100%)	人 (%)	10 人 (100 %)	人 (%)
(主な就職、業界等) 出雲徳洲会病院、松江赤十字病院、松江生協病院、土江総合病院、三井記念病院 他			
(就職指導内容) 就職フェアの実施、進路面談、施設見学の促進、就職対策（履歴書・模擬面接、小論文）など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 医療秘書技能検定 2.3 級、医療事務管理士、ドクターズオフィスワークアシスト、ホスピタルコンシェルジュ、接遇マナー検定、ビジネス文書検定 2 級、健康運動実践指導者、介護予防運動トレーナー、スチューデントトレーナー中級 等			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
17 人	0	0
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組)		

②学校単位の情報

a)「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
看護学科	100,000 円	700,000 円	290,000 円	
理学療法士学科	100,000 円	800,000 円	395,000 円	
臨床工学技士学科	100,000 円	1,000,000 円	295,000 円	
医療総合学科	100,000 円	700,000 円	200,000 円	

修学支援（任意記載事項）

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
ホームページにて公開 https://www.icmn.ac.jp/school/info/		
第三者評価の基本方針（実施方法・体制）		
学校が選任した地域の方や高校関係者、卒業生代表、関連企業の方々の7名で評価委員を構成している。自己点検自己評価では、Ⅰ教育理念や目的、育成人材像、Ⅱ学校運営、Ⅲ教育活動、Ⅳ学修成果、Ⅴ学生支援、Ⅵ教育環境、Ⅶ学生の募集と受入れ、Ⅷ財務、Ⅸ法令等の遵守、Ⅹ社会貢献・地域貢献の10項目の評価している。学校関係者評価委員会では、本校の自己評価結果を評価し、その客観性や透明性を高めることを目的とする。 そして評価の過程を通じて今後の学校運営上の改善などに活かすともに、特色ある学校づくりにつなげるよう位置づけている。学校関係者評価委員会を開催するに当たり、本校の評価結果を説明することはもとより、できる限り豊富な情報の中で評価していただくよう、関連資料を準備し、学校を知る機会を増やしていくよう心がけている。学校として、評価結果については、学校長が責任者としてとりまとめ、管理運営会議で報告し、自己点検自己評価委員会で課題の優先度を検討し、具体的な改善策を立て実施している。		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
島根大学医学部附属病院	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	卒業生
学校法人永島学園 出雲西高等学校	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	高等学校関係 校長
今市コミュニティーセンター	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	地域代表 センター長
公益社団法人 島根県看護協会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関連企業等関係 理事
一般社団法人 理学療法士協会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関連企業等関係 代表
一般社団法人 臨床工学技士会	令和6年4月1日～ 令和8年3月31日	関係企業等関係 会長
第三者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）		
ホームページにて公開 https://www.icmn.ac.jp/school/info/		
（備考）		
第三者評価については令和4年度の実施 次回は令和9年度に実施予定		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://icmn.ac.jp/>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H132320300192
学校名（〇〇大学 等）	出雲医療看護専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人大阪滋慶学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生（内数） ※家計急変による者を除く。		111人（ 72 ）人	109人（ 70 ）人	115人（ 75 ）人
内 訳	第Ⅰ区分	29人	25人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅱ区分	17人	18人	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅲ区分	（ -人）	（ -人）	
	（うち多子世帯）	（ -人）	（ -人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	13人	17人	
	区分外（多子世帯）	42人	39人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（ 0 ）人
合計（年間）				115人（ 75 ）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当	0人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	0人	0人	0人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。